

福島県立好間高等学校

校訓

すぐれた知性
豊かな情操
強固な意志

「好間の教育」 校長 佐藤 秀雄

地域と共にある本校は、教育の根幹を人づくりに置き、社会に貢献できる人材育成のために「鍛える教育」を行っています。特に、一人一人の生徒に安全・安心な学習環境を提供し、限りない可能性を引き出す教育の実践に努めてまいります。次年度のいわき総合高等学校との統合に向けて、本校の取組を継承できるよう準備を進めてまいります。引き続き、保護者や地域の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

教育目標

規律ある学校生活を通して、豊かな人間性と学力を育み、地域社会に貢献するとともに、自らの理想を目指して努力し続ける人間を育てる。

目指す生徒像

自ら律し、自ら学び、自らの夢に挑戦する生徒
「自律・自学・自己実現」

よりよく生きるための品格と進路実現への確実な力の育成

好間高校は「目指す生徒像」の実現のため、生徒を「鍛える教育」を実践していきます。

- ①：生徒の姿、取り組み
- ⑫：教員、学校の姿
- ：教員、学校の取り組み

1 自らを律する力を鍛えます

「規律ある学校生活」を通して、基本的な生活習慣を確立し、安全・安心な学校づくりを行います。

- ① 学びの環境づくりを行います。
→ 望ましい人間関係を築かせ、相互に学習に取り組む態度を育てます。
- ② あいさつの励行と清楚な身なりに努めます。
→ 登下校時や日常的な指導の実施により、あいさつや正しい着こなしの徹底を図り、品位ある生徒を育てます。
- ③ いじめの絶無と他人を傷つける言動の絶無に努めます。
→ 指導体制の確立とともに、学級や授業などでの日々の関わりにより、問題行動の未然防止に努めます。
- ④ 交通事故防止に努めます。
→ 交通安全教育や自転車点検など、日常的な注意喚起により、交通事故の絶無に努めます。

2 学ぶ力を鍛えます

基礎・基本の学力を確実に身につけることにより、進路希望の達成率 100%を目指します。

- ⑤ 授業に真剣に取り組めます。
→ ICT 機器を活用して主体的・対話的で深い学びの実現に取り組み、分かる授業の実践に努めます。
- ⑥ 学習課題の完全実施を含め、家庭学習の充実に努めます。
→ 家庭学習を習慣化させるために、課題提示の工夫をします。
- ⑦ 基礎・基本的学力の獲得に努めます。
→ 問題集の活用により基礎学力の定着を図ります。
- ⑧ 進路目標の実現に努めます。
→ 各部・学年の連携のもと、3カ年を見通した進路指導の計画・実践により生徒の確実な進路目標の確立を果たし、キャリア教育を充実させながら進路実現に努めます。

3 心と身体を鍛えます

特別活動の活性化とともに、道徳教育の推進を図り、より良く生きるための心と身体を鍛えます。

- ⑨ 多様な価値観を理解する寛容さと思いやりの心を育みます。
→ お互いの個性を尊重し命を大切にすることを育てます。
- ⑩ 学校行事や奉仕活動を通して積極的に人と関わりながら自らの役割を果たす力を鍛えます。
→ 学校行事や奉仕活動を通して生徒の自治意識の高揚に努めます。
- ⑪ 積極的な特別活動への参加を通して主体性や対話力を身につけます。
→ 生徒会・委員会・部活動の活性化を図り、生徒が積極的に他者と連携・協働する主体性や対話力を鍛えます。
- ⑫ 授業を通して心と身体を鍛えます。
→ 教科横断的な道徳教育の推進を図り、生徒の道徳性の向上を図ります。

4 保護者や地域との連携で鍛えます

保護者・地域の皆様との連携を密にして、教職員不祥事絶無にて教育活動に取り組みます。

- ⑬ PTA 活動の充実を図ります。
→ 学校内外の PTA 関連の情報を発信し、連携強化を図ります。
- ⑭ 保護者との連携を密にして一人一人の生徒に寄り添います。
→ 保護者との連絡強化に努め、綿密な教育活動にあたります。
- ⑮ 学校評議員や地域住民と地域行政との連携を深めます。
→ 学校評議員会の活用や地域との関わりを深め、協力して教育活動にあたります。
- ⑯ 教職員不祥事絶無に努めます。
→ 信頼される「好間高校教職員チーム」の持続に努めます。正しい服務倫理意識を持ちながら職務遂行にあたります。